



# 川小だより

令和4年10月14日(金) No.8  
狭山市立入間川小学校  
〒350-1323 狭山市鶴ノ木5-9  
TEL 04-2952-6221 FAX 04-2952-6222

## 学校教育目標

・美点を認める明るい子 ・ルールを守る正しい子 ・背筋の伸びた丈夫な子

【目指す児童像・・・素直な子】



入間川小 HP

児童数 10 / 13 現在  
525名

## 学力・学習状況調査結果について

校長 伊藤 秀一

本年度の「埼玉県学力・学習状況調査（4～6年生）」、「全国学力・学習状況調査（6年生）」の結果が発表されましたので、本校の各種調査結果の状況をお知らせします。

### 【埼玉県学力・学習状況調査】 = 4～6年生対象

#### ○調査の目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進すること。

#### ○実施日 令和4年5月10日(火)

#### ○実施学年・教科等

小4～小6 国語・算数・質問紙（学習意欲、学習方法及び生活習慣等）

#### ○実施教科における本校・狭山市・埼玉県の概要（下表）

4年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 4 レベル (平均)
		言葉の 特徴や 使い方	情報の扱い 方、我が国 の言語文化	話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと	
入間川小	61.7	72.0	59.0	40.0	55.1	6-C
狭山市	61.8	70.8	59.0	39.0	60.5	6-C
埼玉県	62.1	70.2	59.0	40.5	63.1	6-C

4年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 4 レベル (平均)
		数と計算	図形	変化と 関係	データ の活用	
入間川小	62.1	62.8	51.1	61.7	73.8	5-B
狭山市	61.7	63.4	50.5	59.3	73.7	5-B
埼玉県	63.0	64.0	51.4	61.8	75.7	5-B

5年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 5 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		言葉の 特徴や 使い方	情報の扱い 方、我が国 の言語文化	話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと		
入間川小	55.4	63.5	55.6	48.3	44.4	6-B	-1
狭山市	53.1	63.2	58.7	41.9	39.6	6-B	0
埼玉県	56.2	64.3	59.1	49.5	44.5	6-A	0

5年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 5 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		数と計算	図形	変化と 関係	データ の活用		
入間川小	65.9	62.8	59.2	78.6	71.1	6-B	2
狭山市	60.6	60.1	54.2	72.5	60.2	6-C	2
埼玉県	63.0	62.2	56.7	74.1	64.0	6-C	1

6年生 国語	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 6 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		言葉の 特徴や 使い方	情報の扱い 方、我が国 の言語文化	話すこと 聞くこと 書くこと	読むこと		
入間川小	65.7	68.0	69.4	64.2	61.4	7-A	2
狭山市	63.1	66.7	63.6	62.8	56.4	7-B	2
埼玉県	63.8	66.8	63.6	65.3	57.4	7-A	3

6年生 算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				R4小 6 レベル (平均)	同集団に おける学 力の伸び (平均)
		数と計算	図形	変化と 関係	データ の活用		
入間川小	61.2	65.6	61.0	62.9	50.4	7-C	2
狭山市	59.2	63.5	57.4	63.6	48.5	6-A	2
埼玉県	59.8	64.2	56.7	65.0	50.3	6-A	1

## <表の見方について>

平成27年度にスタートした埼玉県学力・学習状況調査では、小学校第4学年から中学校第3学年まで、毎年度実施するので「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか」という視点が加えられており、個人の伸びに関しては、個人結果票に記されています。学校全体の伸びに関しては、前ページ表の「R4 小〇レベル（平均）」「同集団における学力の伸び（平均）」が該当します。「同集団による学力の伸び（平均）」の1・2・3は、昨年度と比較して下の表で何段階伸びたかということです。下の表が、各学年・市・県のレベルとなります。

6年生・国語を例にすると、昨年度（5年生）のレベルは7-Cでしたが、この一年間で2段階伸びて、7-Aレベルになったということです。（本調査が4年生以上のため、4年生の「同集団による学力の伸び（平均）」の項目はありません。）

各学年のレベルの範囲 【白色が該当学年の範囲】

	小4		小5		小6	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
レベル9	A					
	B					
	C					
レベル8	A					
	B					
	C					
レベル7	A				県・入	
	B				市	
	C					
レベル6	A		県			入
	B		市・入			県・市
	C	県・市・入		県・市		
レベル5	A					
	B	県・市・入				
	C					
レベル4	A					
	B					
	C					
レベル3	A					
	B					
	C					
レベル2	A					
	B					
	C					
レベル1	A					
	B					
	C					

\*レベル10～12は中学生段階  
\*入=入間川小

4年生は、国語・算数とも市・県と同一レベルでした。平均正答率では、国語は、市・県を下回り、算数は市を上回るポイントでした。国語では、「敬体・常体での表現」の正答率が高く、「2段落構成で書く」の正答率が低くなっていました。算数では、「数と計算」「データの活用」が市・県を下回っていました。回答の仕方では、自分の言葉で回答する『記述式』のポイントが市・県を大きく上回っております。

5年生は、国語で市を、算数で市・県を上回るポイントでした。国語では、「文の順序を正しくする」「敬体・常体での表現」が高い正答率で、「2段落構成で書く」の正答率が低くなっていました。算数では、「数と計算」「図形」「データの活用」の正答率が高くなっていましたが、自分の言葉で回答する『記述式』のポイントが低くなっていました。

6年生は、国語・算数ともに市・県を上回るポイントでした。国語では、「漢字の読み書き」「主語述語の関係」「情報の扱い方」が市・県を上回っていましたが、「話すこと・聞くこと、書くこと」が低い正答率となっていました。算数では、「小数・分数の理解」「図形」が高い正答率でしたが、「変化と関係」の問題の正答率が低くなっていました。記述式のポイントが高くなっています。

正答率が低かった内容につきましては、日常の授業での指導を工夫・改善を図ることはもとより、朝の活動（8:20～8:35）を復習や習熟の機会としたり、家庭学習を活用したりして定着を図っていきたいと考えています。

『規律ある態度』（80%が達成目標）では、「あいさつ」の項目が、3学年ともに達成することができていませんでした。「授業開始時刻」「学習準備」「丁寧な言葉づかい」の項目は、3学年ともに高い回答となっていました。自分から気持ちのよいあいさつをする児童となるよう、継続的に粘り強く取り組んでまいります。また、学習や日常生活の中で、子供たちのよさを積極的に認め、川小だより7月号でもご紹介した、非認知能力（①主体的に課題を見出し解決していこうとする姿勢、②仲間とお互いの良さを認め合って協力していこうとする態度、③自己の感情を制御（コントロール）する力）も高めていきたいと考えております。

**【全国学力・学習状況調査】 = 6年生対象** 実施日 令和 4年 4月19日 (火)

○本調査は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」ことを目的としています。今年度は国語・算数に加え、4年ぶりに理科も実施しました。

本校では、調査結果を丁寧に分析し、今後の学習指導へのより一層の改善・充実に教職員一丸となって努めてまいります。今後も、引き続き学校教育へのご協力をお願いいたします。

なお、この調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

○実施教科における本校・狭山市・埼玉県の概要（下表）

国語	平均 正答率	領域別 平均正答率			
		知識及び 技能	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
入間川小	67.0	70.3	73.1	48.4	67.9
狭山市	※	※	※	※	※
埼玉県	67.0	72.1	68.1	49.7	68.2
全国	65.6	70.5	66.2	48.5	66.6

算数	平均 正答率	領域別 平均正答率				
		数と 計算	図形	測定	変化と 関係	デー タの 活用
入間川小	62.0	69.0	61.5	※	51.1	67.0
狭山市	※	※	※	※	※	※
埼玉県	64.0	69.9	64.5	※	51.8	69.2
全国	63.2	69.8	64.0	※	51.3	68.7

理科	平均 正答率	領域別 平均正答率			
		エネルギー	粒子	生命	地球
入間川小	65.0	52.5	63.3	76.0	63.1
狭山市	※	※	※	※	※
埼玉県	65.0	52.5	61.6	76.7	65.3
全国	63.3	51.6	60.4	75.0	64.6

	【国語】 問題形式別			【算数】 問題形式別		
	選択式	短答式	記述式	選択式	短答式	記述式
入間川小	72.4	64.1	54.9	49.8	78.2	56.3
狭山市	※	※	※	※	※	※
埼玉県	73.3	65.1	53.1	53.1	76.8	59.8
全国	71.8	63.6	51.3	51.8	76.5	60.2

○【国語】

国を上回り、県とは同等でした。「話し言葉と書き言葉との違いの理解」「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える」「互いの立場や意図を明確にしながら話し合い、自分の考えをまとめる」「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える」が高い正答率となっています。「登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉える」「漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く」の正答率が低くなっています。『記述式』で解答する問題の正答率が高い傾向が見られます。物語教材の中での丁寧な読み取りや読書活動の充実を図ったり、書写の学習の中で、文字の大きさや配列等の確認の機会をしっかりと位置づけたりしたいと思います。

### ○【算数】

国や県よりも1～2ポイント低い正答率でした。「割り算を用いて解答を求める文章問題」「円グラフから必要な情報を読み取る」「図形の性質や構成の理解」の定着が今一步でした。また、『記述式』の正答率が低く、埼玉県学力学習状況調査とは逆の傾向が見られます。県・全国の問題文や出題傾向の分析を行い、まず問題文を的確に理解し、解決への見通しを持つような学習の経験を積んでいけるようにしたいと思います。

### ○【理科】

国を上回り、県とは同等でした。「観察で収集した情報を基に、自分の考えを表現する」「実験器具の理解」「実験の過程や結果を適切に記録する」「観察結果を分析し自分の考えを持つ」の正答率が県・国を大きく上回っています。「情報を複数の視点で分析し、自分の考えを持つ」「情報を他者の気付きの視点で分析し、自分の考えを記述する」「水が水蒸気となり空気中に含まれることへの理解」が県・国を大きく下回っています。実験や観察の際に、得られた情報を分析する段階や他者と考えや情報を交流し、分析したり自分の考えを持ったりするなど、日頃の活動にしっかり位置づけるなど工夫を講じたいと思います。

### ○【質問紙】

「将来の目標や夢を持っている」「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」「学校に行くことを楽しみにしている」について、県・国の平均よりも高い傾向で、目標に向かって粘り強く取り組んでいる様子が見られます。

「自分によいところがある」「周りで困っている人がいても、自分から助けてあげられる」への回答が、県・国平均より低い状況でした。学習や生活の中で、褒められたり認められたりする経験を重ねる中で、自己肯定感・有用感を高める、味わわせていきたいと思います。また、道徳や特別活動の充実を図り、周囲の状況を把握する力や他者への親切心、思いやる心などを育てていきます。

埼玉県・全国学力・学習状況調査ともに、本校は無答率が高い傾向にあります。このことについては、見通しを持って粘り強く物事に取り組むような態度を、学習はもとより様々な活動の中で培ってまいります。